

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業に対する評価（案） （令和5年度末時点）

＜地方創生推進タイプ＞

1	移住定住・人材確保戦略的展開事業	1
2	誰もが居場所と役割を持って生涯活躍できる地域コミュニティづくり推進事業	2
3	「新しい山形の過ごし方」（県内資源の魅力を活かした滞在型観光）の提案による インバウンド誘客促進事業	3
4	デジタル技術を活用した幸せな地域づくり推進事業	4
5	多様な「チカラ」の結集による総合的産業活性化事業	5
6	バイオ関連産業エコシステム形成促進事業	6
7	がん地域医療次世代モデル構築推進事業	7
8	他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面 漁業地域の創生事業	8
9	やまがたの未来を担う元気な農林業人材（ひと）づくりプロジェクト	9
10	収益性の高い農業の展開と県産農産物等の付加価値向上推進事業	10
11	次世代産業への参入促進による付加価値向上推進	11
12	山形の宝である多彩な環境・文化遺産の活用による持続可能な観光地づくり 推進事業	12
13	人材・産業・地域のグローバル化推進事業	13
14	光と食でおもてなし！見て、食して、体感する～山形どまんなか冬季観光 プロジェクト	14
15	プロフェッショナル人材の活用による中小企業実現事業	15
16	山形県移住支援事業・マッチング支援事業・移住支援窓口機能強化事業、山形県地域 課題解決型創業支援事業	16
17	女性・高齢者・障がい者向け新規就業・デジタル就業支援事業	17

＜地方創生拠点整備タイプ＞

1	東北農林専門職大学（仮称）を活用した農林業のデジタル実装研究・研修拠点整備 計画（第1次事業）	18
2	東北農林専門職大学（仮称）を活用したスマート農業研究・研修拠点整備計画	19
3	東北農林専門職大学（仮称）を活用したスマート畜産研究・研修拠点整備計画	20
4	東北農林専門職大学（仮称）を活用したスマート森林業研究・研修拠点整備計画	21

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	移住定住・人材確保戦略的展開事業	
事業計画期間	令和元年度～令和5年度	
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保
	政策	国内外の様々な人材の呼び込み
事業の概要	移住定住・人材確保策を一体化・組織化し、「若者(特に子育て世代)」を主なターゲットに、本県への移住希望者一人ひとりのニーズに寄り添った質の高い移住定住・人材確保策を戦略的に展開し、県外からの移住者を拡大させ、人口減少要因の1/3を占める社会減少を抑制する。	
事業費(千円)	58,754	(うち交付金充当額)29,377

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業実施後における新規移住 者数(県や市町村等の各種公的 相談窓口を利用した者)	目標値 (人)	-	600	700	800	900	1,000	4,000	達成
	実績値 (人)	0	387	672	914	915	1,159	4,047	
移住相談窓口(県及び市町村) への年間相談件数	目標値 (件)	-	750	600	400	400	400	2,550	達成
	実績値 (件)	0	3,792	2,608	2,961	3,863	4,376	17,600	
移住定住ポータルサイトトップ ページのアクセス件数	目標値 (件)	-	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	達成
	実績値 (件)	0	137,499	228,983	246,204	251,552	253,459	1,117,697	

3 今後の方針等

関係機関と連携しながら、相談体制や移住支援策、体験メニューの拡充を図り、引き続き、本県への移住の促進や関係人口の拡大を図っていく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	県・市町村・産業界・大学等のオール山形で設立した法人のもと、移住定住・人材確保策を一体的・戦略的に展開することにより、移住者拡大、社会減少の抑制が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	誰もが居場所と役割を持って生涯活躍できる地域コミュニティづくり推進事業		
事業計画期間	令和3年度～令和5年度		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保	県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
	政策	生涯を通じた多様な学びの機会の充実	多様な力の結集による地域コミュニティの維持・活性化
事業の概要	生涯活躍のまちの各要素(「交流・居場所」、「健康」、「活躍・しごと」、「人の流れづくり」)ごとに事業を展開し、誰もが居場所と役割を持って活躍できる地域コミュニティづくりを推進する。		
事業費(千円)	115,053	(うち交付金充当額)57,526	

2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
地域運営組織数	目標値 (箇所)	-	17	14	13	44	概ね 順調
	実績値 (箇所)	33	34	3	1	38	
若者就職支援センターにおける 就職者数	目標値 (人)	-	10	10	10	30	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	240	5	0	12	17	
市町村・企業等による健康づくり 事業への参加者数	目標値 (人)	-	10,000	10,000	10,000	30,000	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	150,000	△ 9,522 (コロナ)	△ 8,561 (コロナ)	18,535	452	
地域活動に取り組む青年グルー プ数	目標値 (団体)	-	12	1	1	14	達成
	実績値 (団体)	66	0 (コロナ)	13	1	14	

3 今後の方針等

地域運営組織の形成や運営への支援等に取り組むとともに、デジタル技術を活用した地域人材の活用等の新しい視点での支援を行うほか、各地域や団体と連携した支援や周知、啓蒙等、各要素ごとに事業を展開していく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	生涯活躍のまちづくりを構成する各種事業を推進することで、地域コミュニティの維持・活性化が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	「新しい山形の過ごし方」(県内資源の魅力を活かした滞在型観光)の提案によるインバウンド誘客促進事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化
事業の概要	環境の変化に対応しつつ、広域周遊観光や長期滞在の促進、及びスポーツを通じた多様な交流を推進させるため、海外市場ごとの特性に応じた更なる認知度向上を図るとともに、山形の特徴や優位性を活かした「新しい山形の過ごし方」を提案し、観光消費額の拡大とインバウンド誘客の促進を目指す。	
事業費(千円)	95,648	(うち交付金充当額)47,822

2 重要業績評価指標(KPI) ※1「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
外国人旅行者延べ宿泊者数	目標値 (人)	-	210,645	51,000	51,000	312,645	策定時を 下回る
	実績値 (人)	234,050	△ 218,130 (コロナ)	11,820 (コロナ)	114,200	△ 92,110	
外国人旅行者受入数	目標値 (人)	-	350,035	71,000	71,000	492,035	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	388,928	△ 371,845 (コロナ)	40,368 (コロナ)	354,983	23,506	
訪日外国人観光消費額単価	目標値 (円)	-	77	1,000	1,100	2,177	—
	実績値 (円)	28,923	※2 — (コロナ)	※2 — (コロナ)	集計中	統計値 未発表	
外航クルーズ船寄港数	目標値 (回)	-	1	4	2	7	概ね 順調
	実績値 (回)	0	0 (コロナ)	0 (コロナ)	6	6	

※2 コロナによる入国制限の影響により必要十分なサンプル数を確保できず、正確な増加分の把握が困難

3 今後の方針等

外国人旅行者数などが回復傾向にあるため、引き続き、関係団体と連携したプロモーションや誘客施策を展開し、交流人口の拡大を図りながら、観光消費額の拡大とインバウンド誘客を促進する。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	海外市場ごとの特性に応じた情報発信や、本県の特徴や優位性を活かした観光商品の造成等に取り組むことにより、インバウンド需要の拡大が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	デジタル技術を活用した幸せな地域づくり推進事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用
	政策	暮らしや産業の発展基盤となるICTなど未来技術の早期実装
事業の概要	福祉、産業、教育等を中心にあらゆる分野において、既にあるデジタル技術の活用や高度な技術開発に努め、県内に広く浸透させていく。また、人材の育成や県内外のフリーランス人材・副業人材の活躍により、県全体のデジタル・トランスフォーメーションを促進させ、働き方・暮らし方を大胆に見直し、その環境を整備する。	
事業費(千円)	17,196	(うち交付金充当額)7,628

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業を通じた、デジタル技術を活用した生産性向上や暮らしの質の向上に関する取組件数	目標値 (件)	-	10	10	11	31	達成
	実績値 (件)	77	14	17	26	57	
デジタル技術研修の受講者数	目標値 (人)	-	48	48	48	144	達成
	実績値 (人)	0	91	45	52	188	
本事業を通じた、デジタル技術を導入する訪問看護事業所の数	目標値 (件)	-	5	6	7	18	達成
	実績値 (件)	2	36	11	16	63	
ICT推進トップリーダーによる研修を受講した教員数	目標値 (人)	-	38	37	37	112	達成
	実績値 (人)	0	175	213	151	539	

3 今後の方針等

活用事例の周知やセミナーの開催等により、県民への普及啓発やデジタル人材の育成に取り組むとともに、教育分野への展開として、高校生のデジタル関連研究の発表会を開催するなどの取組みを実施しながら、県内各分野でのデジタル化の推進に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	県内各分野でのデジタル化を推進することにより、県民の生活の質や地域産業の生産性向上につながることを期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	多様な「チカラ」の結集による総合的産業活性化事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	新たな販路開拓支援など地域の「稼ぐ力」の向上に向けた取組みや、創業・事業承継支援等地域産業の新陳代謝促進に向けた取組み、本県産業の担い手確保の取組みなどを一体的に進めることにより、産業イノベーションを支える多様な「チカラ」を結集させ、魅力的な産業が新たな人材を呼び込み、魅力的な人材が新たな産業を呼び起こす好循環を実現させる。	
事業費(千円)	151,844	(うち交付金充当額)75,834

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業を通して増加した県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合	目標値(%)	-	0.30	0.33	0.40	1.03	策定時を下回る
	実績値(%)	0.00	△ 1.16	△ 2.85	△ 1.98	△ 5.99	
本事業を通じた県の支援による創業件数	目標値(件)	-	5	13	25	43	達成
	実績値(件)	0	7	73	85	165	
本事業を通して増加した県産品ポータルサイト「いいもの山形」掲載生産者数	目標値(者)	-	3	5	6	14	達成
	実績値(者)	0	4	5	6	15	

3 今後の方針等

若者の県内定着・回帰に向け、学生向けのインターンシップセミナーの開催など、県内企業を理解する機会を創出するとともに、人材確保・生産性向上の推進のため、関係者と連携した取組みを行う。また、創業支援のため、「スタートアップステーション・ジョージ山形」の機能を強化するとともに、県産品のブランドイメージの更なる向上・定着に向け、全国主要都市での物産展の開催や継続的な情報発信を行い、販路開拓に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	若者の県内定着・回帰に向けた取組みや、創業支援及び事業承継支援、県産品の魅力向上に向けた取組みを実施することにより、多様な産業人材の確保や地域産業の活性化につながることを期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	バイオ関連産業エコシステム形成促進事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	慶應先端研及びバイオベンチャーと県内企業との共同研究・共同開発及びその事業化を推進するとともに、共同研究の成果を事業化した場合の販路開拓等支援を行うことにより、産学官が連携してバックアップする仕組みを確立し、バイオテクノロジー産業を中心に地域経済が循環するエコシステムの形成を目指す。	
事業費(千円)	21,342	(うち交付金充当額)10,657

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業により慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発した製品・サービスのうち、事業化・製品化した件数	目標値 (件)	-	0	1	2	3	達成
	実績値 (件)	0	2	3	1	6	
本事業により共同研究を行った慶應先端研発バイオベンチャー及び県内企業における新規雇用者数	目標値 (人)	-	10	15	20	45	達成
	実績値 (人)	0	10	19	23	52	
慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発件数のうち、庄内地域以外の割合	目標値 (%)	-	7	7	7	21	更なる 取組みが 必要
	実績値 (%)	47	30	△ 14	△ 3	13	
慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発件数のうち、食品産業以外の産業の割合	目標値 (%)	-	4	4	4	12	達成
	実績値 (%)	24	30	2	△ 6	26	

3 今後の方針等

慶應先端研及びバイオベンチャーと県内企業との共同研究・共同開発について、庄内地域以外の企業との取組み件数の増加をはかるとともに、研究成果の事業化やバイオベンチャーの事業拡大に向けた販路開拓への支援を継続し、県内産業の振興やバイオテクノロジー産業を中心とした地域経済が循環するエコシステムの形成に向けて引き続き取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	共同研究・共同開発及びその成果による事業化・製品化に向けた取組みが着実に進捗しており、地域産業の活性化に寄与することが期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	がん地域医療次世代モデル構築推進事業		
事業計画期間	令和3年度～令和7年度		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出	
事業の概要	国立がん研究センターや慶應先端研と連携してメタボローム解析技術を用いた研究の事業化を推進することにより、次世代地域医療モデルの構築を目指す。また、連携研究拠点の研究内容の周知拡大等の取組みにより、研究成果を活用した新たな産業の創出や、国内外の研究者等高度人材の集積、交流人口の拡大を図る。		
事業費(千円)	96,423	(うち交付金充当額)48,211	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
支援事業を通じた新たなサービス、製品の事業化数	目標値 (商品)	-	0	1	2	2	2	3	更なる 取組み が必要
	実績値 (商品)	0	0	1	1	-	-	2	
支援事業を通じた新サービス、新製品の事業化に伴う新規雇用者数	目標値 (人)	-	0	2	5	5	5	7	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	0	0	2	3	-	-	5	
次世代医療メタボローム解析データのデータベース登録数	目標値 (件)	-	100	200	300	300	300	600	達成
	実績値 (件)	0	119	221	446	-	-	786	
県内医療機関等とのがん治療等に関する連携(共同研究含む)数	目標値 (件)	-	1	1	1	1	1	3	達成
	実績値 (件)	0	1	1	1	-	-	3	

3 今後の方針等

<p>次世代地域医療モデルの構築に向け、慶應先端研や国立がん研究センター、県内医療機関等において共同研究やオンライン診療システム等の取組みが連携して行われ、研究成果を活用したサービス、製品開発といった県内企業との産学連携の事例も増加している。引き続き、県内の産業振興、雇用創出の観点から、本拠点の支援事業を継続していく。</p>
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	次世代地域医療モデルの構築に向けた共同研究が着実に進捗しており、その成果等の活用により、地域産業の活性化や起業、新規雇用の創出に寄与することが期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面漁業地域の創生事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	付加価値の高い水産業の振興
事業の概要	収益性の高い経営体の確立や担い手の確保に向けて、水産業者の経営基盤の強化に取り組むとともに、未利用魚などを活用した「売れる」商品開発や「漁村体験型」の商品を開発や、水産物の安定供給に向けた蓄養、冷凍技術の高度化に取り組むことで、観光客や教育旅行を呼び込み、新たなにぎわいの創出を図る。	
事業費(千円)	47,218	(うち交付金充当額)23,609

2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
支援事業を通じたトップランナー及び準トップランナーにおける海面漁業生産額の増加	目標値 (千円)	-	55,000	55,500	55,520	166,020	—
	実績値 (千円)	0	△ 251,832	411,993	未発表	統計値 未発表	
支援事業を通じた蓄養による出荷額の増加	目標値 (千円)	-	2,000	2,600	3,300	7,900	更なる 取組み が必要
	実績値 (千円)	0	1,368 (コロナ)	△ 150 (コロナ)	△ 1,218	0	
養殖生産額(種苗等販売額を含む)	目標値 (千円)	-	17,000	17,000	17,520	51,520	—
	実績値 (千円)	340,148	△ 65,028	△ 47,542	未発表	統計値 未発表	
遊漁証の発行枚数の増加	目標値 (枚)	-	950	1,000	1,000	2,950	策定時 を下回る
	実績値 (枚)	0	753 (コロナ)	△ 1,263	△ 181	△ 691	

3 今後の方針等

水産業の成長産業化に向けて、漁業者グループ等の意欲的な取組みを市町村と連携して支援するとともに、蓄養の事業化や、新規漁場及び新規資源の開拓、加工品の付加価値向上への支援等に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	市町村と連携した水産業者の意欲的な取組みに対する支援や、本事業で得られた研究成果を漁業者にフィードバックすること等により、水産業の人材育成・確保や、水産物の付加価値向上につながることを期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	やまがたの未来を担う元気な農林業人材(ひと)づくりプロジェクト	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成
事業の概要	地域農林水産業を支える多様な人材を広く確保・育成し、本県の基盤である農林水産業を活性化していくとともに、経営マインドや高度な経営・技術知識の習得やICT等の新技術導入により、生産性及び収益の向上を図り、将来を担う若者たちがチャレンジし希望の持てる農業環境づくりを進め、持続的に発展する農業県やまがたを目指す。	
事業費(千円)	137,099	(うち交付金充当額)67,524

2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
山形県で農業を始めた若者及び女性の人数(女性と30代以下の男性の実人数)	目標値 (人)	-	32	45	60	137	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	235	35	8	29	72	
山形県への移住者で、農業を始めた人数	目標値 (人)	-	11	12	14	37	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	44	5 (コロナ)	3	12	20	
支援事業を通じた農業者当たりの産出額の増加	目標値 (万円)	-	15	17	17	49	—
	実績値 (万円)	643	△ 31	53	未発表	統計値 未発表	
農業就業ポータルサイトのアクセス数	目標値 (件)	-	2,700	5,500	8,500	16,700	達成
	実績値 (件)	5,000	6,800	9,006	8,018	23,824	

3 今後の方針等

引き続き、市町村と連携して地域農業の生産性向上や女性、障がい者等を含む多様な人材の活躍促進に向けた取組みを支援し、担い手の確保・育成に取り組むとともに、農林分野におけるデジタル技術等の導入をさらに拡大するなど、生産性及び収益性の向上に向けた取組みを進めていく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	農林業人材の確保・育成や、ICT等の新技術導入など生産基盤整備に取り組むことにより、地域農業の活性化や生産性及び収益向上につながることを期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	収益性の高い農業の展開と県産農産物等の付加価値向上推進事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	収益性の高い農業の展開
事業の概要	全国に誇る豊かな農林水産物と魅力ある地域資源の活用により、「農」「食」「地域」が相互に連携・協働することで新たな価値を創出し、「農林漁業者の所得向上」、「地域全体の所得・付加価値の向上」、「働く場の創出」を図るとともに、「農山漁村の活性化」の実現を目指す。さらに、県内唯一の重要港湾・国際貿易港である酒田港を利用した輸出を促進することにより、新たな海外市場の開拓、農家の所得向上等を図る。	
事業費(千円)	159,337	(うち交付金充当額) 76,940

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
支援事業を通じた食品製造品販売額	目標値 (万円)	-	1,600	2,100	2,200	5,900	—
	実績値 (万円)	0	3,338	4,938	集計中	統計値 未発表	
支援事業を通じた県産米の輸出額	目標値 (百万円)	-	24	24	24	72	—
	実績値 (百万円)	0	87	56	集計中	統計値 未発表	
6次産業化に取り組む事業者のEC参入率	目標値 (%)	-	4.0	4.0	4.0	12.0	—
	実績値 (%)	21.3	6.6	3.8	集計中	統計値 未発表	

3 今後の方針等

<p>県産農産物の更なる付加価値向上に向けて、引き続き消費者ニーズに対応した商品開発と商談会や情報発信等による販路開拓・確保に取り組んでいく。また、荷主に対する助成制度の要件の見直しや、積極的なポートセールス活動の展開等により、酒田港を利用した輸出の促進に取り組んでいく。</p>
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	農産物のブランド化や6次産業化の取組みの促進、輸出拡大に取り組むことにより、農産物の付加価値向上及び農林業者の所得向上につながることを期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	次世代産業への参入促進による付加価値向上事業	
事業計画期間	令和4年度～令和6年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	今後成長が期待される分野への新規参入支援等による企業の付加価値向上の促進や、本県が先導的に取り組んできた分野における研究シーズの活用による製品・事業の高付加価値化、AI等の先端技術の導入による1人あたりの生産性向上、県外からの企業誘致や若者や女性の就職先の確保による県内経済の活性化等により、高付加価値を生み出すものづくり産業の形成を目指す。	
事業費(千円)	161,904	(うち交付金充当額) 79,674

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業を通して新たに成立した商談の件数	目標値 (件)	-	10	12	17	22	達成
	実績値 (件)	0	30	67	-	97	
本事業を通して自動車・医療・福祉等の成長期待分野に新たに参入する県内企業数	目標値 (社)	-	3	4	9	7	達成
	実績値 (社)	0	6	6	-	12	
本事業を通して新たにAIを導入する企業数	目標値 (社)	-	2	4	4	6	達成
	実績値 (社)	0	0	6	-	6	

3 今後の方針等

<p>企業の課題に応じた取引支援や生産改善の支援、アドバイザーの派遣等による、次世代自動車などの成長分野への参入促進の取組みや、製品・事業の高付加価値化、県内産業の活性化、DX人材等の育成に向けた取組みを進めることで、高付加価値を生み出すものづくり産業の形成を目指していく。</p>

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	成長分野への参入促進や販路開拓・拡大支援、専門性の高い人材の確保・育成等に取り組むことにより、高付加価値を生み出すものづくり産業の形成につながることが期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	山形の宝である多彩な環境・文化資産の活用による持続可能な観光地域づくり推進事業	
事業計画期間	令和4年度～令和6年度	
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化
事業の概要	精神文化をはじめとする本県ならではの強みや本県の特色ある地域資源を活かして、国内外の消費者を引きつける魅力ある地域づくりを推進し、何度も本県を訪れてもらうことで地域経済の好循環を生み出し、地域の活性化を促す。また、本県が誇る環境や文化など、地域の多様な資産を保全・活用・継承していく取組みや、郷土愛の醸成と地域に活力を生み地域を支える次代の人材育成等の取組みを通して、地元が主体性をもった持続可能な地域づくりを推進する。	
事業費(千円)	47,675	(うち交付金充当額)23,837

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
蔵王を取り巻く地域(山形市、上山市、天童市)の観光消費額単価	目標値 (円)	-	3,993	3,993	3,994	7,986	達成
	実績値 (円)	29,960	13,966	20,177	-	34,143	
県内主要温泉観光地の観光者数	目標値 (千人)	-	1,683.0	1,683.0	1,684.0	3,366.0	—
	実績値 (千人)	5,850.1	1,284.3	未発表	-	統計値 未発表	
やまがた景観物語「おすすめビューポイント」来訪者数	目標値 (千人)	-	10	10	10	20	達成
	実績値 (千人)	44	8	20	-	28	
地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒(小学生)の割合	目標値 (%)	-	1.4	1.4	1.5	2.8	策定時を 下回る
	実績値 (%)	85.7	△ 14.1	4.0	-	△ 10.1	

3 今後の方針等

地域の関係者や関係組織と連携し、誘客に向けたプロモーションやコンテンツの造成・拡充等に取り組むとともに、イベントの開催、地域の文化芸術団体の発表の場の創出を通して、環境資産や文化資産、地域文化の普及啓発に取り組みながら、持続可能な観光地域づくりを推進していく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	観光地域への誘客の促進や、本県の多様な資産の普及啓発に取り組むことにより、地域の活性化や、地元が主体性をもった持続可能な地域形成につながることを期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	人材・産業・地域のグローバル化推進事業	
事業計画期間	令和4年度～令和6年度	
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保
	政策	生涯を通じた多様な学びの機会の充実
事業の概要	地域社会や産業経済の活力の維持向上のために必要不可欠な人材となりうる外国人留学生の受入拡大・県内定着促進や、県内企業における外国人材の受入促進、若者や企業の経営者等が国内外と新たに交流する機会の創出等の取組みを通じて、人材・産業・地域のグローバル化を推進し、外国人材を呼び込み、若い世代が定着し活躍することができる山形県の実現を目指す。	
事業費(千円)	21,832	(うち交付金充当額) 10,916

2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業を通じて増加した外国人 留学生のうち卒業生の県内就職 率	目標値 (%)	-	3.89	5.00	5.00	8.89	更なる 取組み が必要
	実績値 (%)	0.00	0.00	0.00	-	0.00	
本事業を通じて増加した外国人 留学生の県内受入数	目標値 (人)	-	35	37	41	72	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	0	0 (コロナ)	41	-	41	
本事業を通じて増加した海外取 引を行う県内企業の数	目標値 (社)	-	18	19	19	37	—
	実績値 (社)	0	9	未発表	-	統計値 未発表	
サミット参加者数	目標値 (人)	-	120	120	120	240	概ね 順調
	実績値 (人)	0	138	67	-	205	

3 今後の方針等

留学先として山形県が選ばれるために、引き続きコンソーシアムにより留学生を手厚くサポートするとともに、県内就職率の増加のためマッチングを強化する。また、留学生が山形に定着するように、受入れ先となる企業経営者等によるコミュニティ形成支援をセミナー開催などにより引き続き進めていく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	国際的な議論・交流の推進や留学生の定着支援、企業の国際化促進を行うことにより、人材・産業・地域のグローバル化につながることが期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	光と食でおもてなし！見て、食して、体感する～山形どまんなか冬季観光プロジェクト～	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化
事業の概要	西村山地域の冬期間の観光誘客の改善と恒常的な人の流れを創出するため、イルミネーションを観光資源とした事業を展開するとともに、地域資源である「食」にスポットを当てた圏域外への情報発信を強化し、隣県及び県内からの観光客の増加を図る。また、観光誘客とまちの活性化による相乗効果を狙って創業支援や販売促進活動を行い、地域製品のブランド力強化を目指す。	
事業費(千円)	9,675	(うち交付金充当額)4,837

2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
冬期間(1月～3月)の観光者数	目標値 (千人)	-	108.36	77.66	75.96	261.98	その他
	実績値 (千人)	1,066.90	△ 313.71 (コロナ)	139.70	未発表	統計値 未発表	
道の駅の観光者数	目標値 (千人)	-	47.07	30.27	44.82	122.16	その他
	実績値 (千人)	1619.98	△ 414.27 (コロナ)	258.90	未発表	統計値 未発表	
圏域外に居住する関係人口の 人数	目標値 (人)	-	15	15	15	45	その他
	実績値 (人)	639	61	4	未発表	統計値 未発表	
宿泊者数	目標値 (人)	-	11,640	8,570	7,970	28,180	その他
	実績値 (人)	114,122	△ 7,382 (コロナ)	13,972	未発表	統計値 未発表	

3 今後の方針等

県内の他の冬季イベントやアクティビティ等を織り交ぜたPRに取り組み、本イベントの魅力向上、引いては県外を含めた一層の誘客を実現し、冬季観光客数の増加を図っていく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	本事業を通じた冬期間の観光振興及び観光需要の掘り起こしや、地域資源を活用したPRの実施により、冬期間の交流人口拡大につながる事が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	プロフェッショナル人材の活用による中小企業実現事業	
事業計画期間	令和5年度～令和9年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	デジタル化などの時代の流れに対応しながら新たな市場を開拓し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を生み出させるよう、地域企業の企業力を高めるプロフェッショナル人材のマッチング支援を行い、本県への労働人口の還流を促進しながら、地域経済の維持を図る。	
事業費(千円)	34,426	(うち交付金充当額)20,275

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
地域企業に対するプロフェッショナル人材マッチング件数	目標値 (件)	-	70	70	70	70	70	70	達成
	実績値 (件)	67	81	-	-	-	-	81	
地域企業の経営課題に関する取組件数	目標値 (件)	-	225	225	225	225	225	225	達成
	実績値 (件)	210	237	-	-	-	-	237	
マッチング件数のうちデジタル化推進に資する件数	目標値 (件)	-	7	7	7	7	7	7	達成
	実績値 (件)	2	15	-	-	-	-	15	

3 今後の方針等

民間ビジネス事業者や金融機関等との連携を強化し、優れた人材の県内へのUIターンを促進していくとともに、よりきめ細かに副業・兼業人材の活用ニーズを掘り起こし、マッチングを支援していく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	専門的知識や高度な技術を持つプロフェッショナル人材の本県への還流が促進されることにより、中小企業の成長を促し、県内経済の活性化に寄与することが期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	山形県移住支援事業・マッチング支援事業・移住支援窓口機能強化事業、山形県地域課題解決型創業支援事業	
事業計画期間	令和5年度～令和9年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保
	政策	国内外の様々な人材の呼び込み
事業の概要	東京圏からの移住並びに本県産業への就業及び起業を後押しするための移住支援金を支給する移住支援事業、本県産業と就業者のマッチングを支援するための求人情報を提供するマッチング支援事業、移住支援窓口機能強化事業を実施する。併せて、地域の社会的課題の解決を目指す担い手を確保するため、社会的事業分野における起業者に対して起業支援金を支給する起業支援事業を実施する。	
事業費(千円)	68,072	(うち交付金充当額) 34,036

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
本移住支援事業に基づく移住者数	目標値 (人)	-	80	80	95	115	130	80	達成
	実績値 (人)	50	100	-	-	-	-	100	
本起業支援事業に基づく起業者数	目標値 (人)	-	4	4	4	4	4	4	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	0	0	-	-	-	-	0	
マッチングサイトに新たに掲載された求人数	目標値 (件)	-	210	220	230	240	250	210	達成
	実績値 (件)	201	425	-	-	-	-	425	
本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数	目標値 (世帯)	-	20	20	25	30	35	20	概ね 順調
	実績値 (世帯)	10	17	-	-	-	-	17	

3 今後の方針等

<p>移住促進に向けた支援策の拡充と本支援策のPR、要件の定義の見直しを市町村に働きかけるほか、本県産業と就業者のマッチングサイトに掲載される求人について、幅広い業種・職種が登録されるよう、商工団体等と連携してPRする。また、引き続き、創業に対する助成金事業を継続し、地域社会が抱える課題の解決を目指す担い手の確保を図る。</p>

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	事業の実施を通して、東京圏からの移住や本県への就業促進、地域の課題解決に資する新たな事業の創出が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	女性・高齢者・障がい者向け新規就業・デジタル就業支援事業	
事業計画期間	令和5年度～令和9年度	
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
	政策	県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備
事業の概要	官民連携のプラットフォームを形成し、各種助成金や各種相談窓口などの既存の仕組みも活用しながら、デジタル技術の活用促進も図りつつ、女性、高齢者の新規就業者の掘り起し、女性、高齢者、障がい者の受入れ企業における職場環境の改善、マッチング、伴走支援までを一体的に実施する。	
事業費(千円)	58,915	(うち交付金充当額)29,457

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)	目標値 (人)	-	400	400	450	450	450	400	達成
	実績値 (人)	0	926	-	-	-	-	926	
デジタル技術の習得や仕事への活用促進の支援に関する取組みにより、デジタル技術を仕事に活用している者の数(デジタル活 用者数)	目標値 (人)	-	30	30	45	45	45	30	達成
	実績値 (人)	0	154	-	-	-	-	154	

3 今後の方針等

新規就業者の増加に向けて、企業開拓及び職場環境の整備・改善を促すとともに、キャリアカウンセリングやセミナーなどを通して、女性の再就職の支援を行う。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	女性・高齢者・障がい者の雇用拡大につながっており、産業振興のための潜在的な担い手の確保が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	東北農林専門職大学(仮称)を活用した農林業のデジタル実装研究・研修拠点整備計画(第1次事業)		
事業計画期間	令和4年4月～令和5年3月		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化	
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成	
事業の概要	近年、激甚化する気象災害や深刻化する担い手の不足といった東北地方の農林業が抱える課題を克服すべく、山形県が設立・運営する「東北農林専門職大学(仮称)」に、果樹分野における効率的かつ効果的な防霜対策等をテーマとする研究・研修施設を整備し、大学教員と東北6県の農林業経営体とが連携した研究に取り組む。		
事業費(千円)	(地方創生拠点整備交付金分) 46,709	(うち交付金充当額) 22,055	
	(地方創生推進交付金(ソフト)分) 7,528	(うち交付金充当額) 3,764	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
施設整備によって向上した技術により増加した産出額(さくらんぼ)	目標値 (百万円)	—	0.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	—
	実績値 (百万円)	35,100.00	0.00	未公表	—	—	—	統計値 未発表	
施設整備によって向上した技術により増加した農業者一人当たりの産出額	目標値 (万円)	—	0.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	—
	実績値 (万円)	639.00	0.00	未公表	—	—	—	統計値 未発表	

3 今後の方針等

当該施設を拠点として、新しい通信規格(LPWA)を活用した調査研究と進めるとともに、現場での実態調査や技術実証に取り組んでいく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった
意見等	同施設の活用により、果樹分野における収量・品質の安定化が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート農業研究・研修拠点整備計画		
事業計画期間	令和5年4月～令和6年3月		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化	
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成	
事業の概要	リモートセンシングや生育環境モニタリング装置等を備えた施設を整備し、ICT技術による生育診断及び高品質で多収に繋がる環境モニタリング方法をテーマとする研究・研修に取り組み、生産現場への技術普及を図ることで、生産性の向上に貢献し、収入の確保等に寄与するもの。		
事業費(千円)	53,042	(うち交付金充当額)26,271	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
施設整備によって向上した技術により増加した産出額(米)	目標値 (億円)	-	0.00	8.00	8.00	8.00	9.00	0.00	-
	実績値 (億円)	835.00	R5年度末までに施設を整備する計画のため、R5は目標値をゼロに設定						
施設整備によって向上した技術により増加した産出額(野菜)	目標値 (億円)	-	0.00	3.00	3.00	3.00	4.00	0.00	-
	実績値 (億円)	472.00	R5年度末までに施設を整備する計画のため、R5は目標値をゼロに設定						
研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数	目標値 (件)	-	0	0	2	3	3	0	-
	実績値 (件)	0	R5年度末までに施設を整備する計画のため、R5は目標値をゼロに設定						

3 今後の方針等

整備した施設等を用い、デジタル技術を活用したスマート農業の技術開発を行う。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効な施設を整備した。
意見等	今後、同施設の活用により、稲作、野菜、花きにおける品質向上・収量の増加が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート畜産研究・研修拠点整備計画	
事業計画期間	令和5年4月～令和6年3月	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成
事業の概要	牛群管理システムや分娩監視装置等の様々なデジタル機器を備えた施設を整備し、デジタル技術の実証、展示、研修・普及等に取り組み、生産現場への技術普及を図ることで、生産性の向上に貢献し、収入水準の確保等に寄与するもの。	
事業費(千円)	248,630	(うち交付金充当額) 124,065

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
施設整備によって開発した技術により増加した産出額(畜産)	目標値 (億円)	-	0.00	15.00	15.00	16.00	16.00	0	-
	実績値 (億円)	361.00	R5年度末までに施設を整備する計画のため、R5は目標値をゼロに設定						
施設整備によって開発した技術により増加した農業者一人当たりの肉用牛産出額	目標値 (万円)	-	0.00	99.00	99.00	99.00	99.00	0	-
	実績値 (万円)	1,619.00	R5年度末までに施設を整備する計画のため、R5は目標値をゼロに設定						
研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数	目標値 (件)	-	0	0	1	1	1	0	-
	実績値 (件)	0	R5年度末までに施設を整備する計画のため、R5は目標値をゼロに設定						

3 今後の方針等

整備した施設等を用い、デジタル技術を活用したスマート畜産の技術開発を行う。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効な施設を整備した。
意見等	今後、同施設の活用により、畜産分野における疾病の未然防止・品質向上が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート森林業研究・研修拠点整備計画	
事業計画期間	令和5年4月～令和6年3月	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成
事業の概要	リモートセンシングや森林資源情報の収集・解析に必要な設備・施設を整備し、森林資源情報の高精度化や情報収集・解析作業の効率化を進める実用的手法確立の研究、研修に取り組み、現場に普及することで、経営基盤強化や生産性向上に貢献し、収入水準の確保等に寄与するもの。	
事業費(千円)	177,976	(うち交付金充当額)88,738

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R5)までの 増加分累計	進捗 状況
施設整備によって確立された手法により増加した県産木材供給量	目標値 (m ³)	-	0.00	4.00	4.00	4.00	4.50	0.00	—
	実績値 (m ³)	53.50	R5年度末までに施設を整備する計画のため、R5は目標値をゼロに設定						
施設整備によって確立された手法により増加した林業産出額	目標値 (億円)	-	0.00	3.00	3.00	3.00	4.00	0.00	—
	実績値 (億円)	82.00	R5年度末までに施設を整備する計画のため、R5は目標値をゼロに設定						
研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数	目標値 (件)	-	0	0	1	2	2	0	—
	実績値 (件)	0	R5年度末までに施設を整備する計画のため、R5は目標値をゼロに設定						

3 今後の方針等

整備した施設等を用い、デジタル技術を活用したスマート森林業の技術開発を行う。
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効な施設を整備した。
意見等	今後、同施設の活用により、森林業分野における適正な維持管理や利活用が期待できる。